



皮膚科用

デジタルダーモ

Model : Derma9500S-GR



この度は、当社製品をご採用頂き有り難うございます。  
ご使用前には取り扱い説明書をご一読され、十分ご理解の上ご利用頂きます  
様に、お願い致します。  
注意事項について、リコー製 WG-6 使用説明書に記載された安全上の注意  
事項にもご留意ください。

### デルマ医療(資)

横浜市南区永田南2-11-26

TEL: 045-731-2584 FAX: 045-714-3763

E-mail : [dermandinc@ybb.ne.jp](mailto:dermandinc@ybb.ne.jp)

URL : <http://dermamedical.jp/>

Derma9500Sデジタルダーモは  
皮膚科用に設計されたものです。  
目的以外の使用は避けてください。

## セット内容の確認

DermaB500Sには以下のものが同梱されています。

- カメラ本体一式(リコー製 GB00及びWG-6 詳細はリコーカメラ本体の使用説明書をご覧ください。)
- 接写撮影アダプター デジタルダーモー式  
エコージェル/偏光フィルター一体型モジュール

注1)専用バッテリーは既に装着済みです。

注2) DermaB500S-GR

スイッチの横の赤い印の方に倒せば偏光フィルターモードになります。逆サイドがジェルモードになります。



## アダプターをカメラに取り付ける

接写撮影アダプターをカメラ本体に取り付けます

1

カメラのマウントアダプターの上側とモジュールの役線と合わせます。

2

カメラマウント側の「●」印とモジュール(アダプター)役線の「●」印の位置を合わせて紙を、矢印方向にストッパーに当たる位置まで回します。磁石で固定されているため、元の方向に戻せばロックが外れますので、ご注意ください。



## 修理について

修理等で当社に送付される場合は、カメラ本体と接写部ユニットを分解し、クッション材等で梱包して送付して下さい。

## 保証について

- お客様の購入日(出荷日)は当社で自動登録しています。医院名、お名前を御連絡くださいれば対応致します。
- 保証期間はご購入後1年です
- 基本的にはカメラ本体は「株式会社リコー」の保証です。当社接写部の保証対象も同様内容です。

「保証規定」

1. 1年間の無償修理期間後の修理は有償となります。
2. 故障原因が次の場合は補償範囲の枠外となり有償となります。
  - 1) 取り扱い不注意、誤用による故障及び損傷
  - 2) 当社以外の修理、改造、分解等による故障及び損傷
  - 3) 花・砂・水かぶり、落下、衝撃等が原因で発生した故障及び損傷
  - 4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
  - 5) 保管上の不備や手入れの不備による損傷
3. 消耗品類は本保証の対象になりません。
4. 修理品の運賃・諸費についてはお客様にて御負担願います。
5. 本製品の故障による付随的損害(撮影に要した諸費用及び撮影により得られるべき利益の逸失など)については補償致しかねます。

## 使用上のご注意

1. 通常使用しない時は、照明用の電源スイッチを「OFF」にしてください。
2. 使用中に照明が不良になった場合はデルマ医療まで御連絡下さい。
3. 清掃では接写部ユニットは柔らかい布で拭いて下さい。  
ベンゼン・アルコール高揮発性溶剤は使用しないで下さい。  
フィルターガラス等は、検査終了毎に必ずアルコール綿等で清掃して下さい。
4. 照明光源を持っていますので先に過敏な人への使用は避けて下さい。
5. ロック機構に磁石が使用されていますので、磁石で影響される機器等にご注意下さい。

## パソコンとの結合について

1. 添付のUSBケーブルでパソコンに接続し、撮影済みの画像をパソコンに転送して保存します。
2. SDカードをカードリーダー(USB接続)を使って、画像を取り込む。

## テレビを使って再生させる

1. ハイビジョンテレビにより高解像度で見れます。オプションケーブルにHD M1ケーブル HC-1を使ってハイビジョンテレビに接続し、撮像中の画像と撮影済みの画像も見ることが出来ます。(カメラユーザーガイド 94頁参照)

## バッテリーケースの電池及び電池交換

長期間使用しない場合は電池を外して下さい。電池の液漏れを防ぎます。又、6ヶ月以上の長期使用の際も時々電池の液漏れのチェックをして下さい。電池の液漏れはバッテリーケースを駄目にします。液晶画面上の下の左側にシャッター半押しで、絞り値(F5.5)その隣りにシャッタースピードが表示され、1/60秒より速くなったら、交換して下さい。最低、照明が暗くなった場合、又は点灯しなくなった場合は電池の交換をして下さい。

1. バッテリーケースの蓋を下にスライドして外します。
2. 新しい電池と交換します。(極性を正しく入れて下さい)
3. 蓋を上に戻してロックが掛かっていることを確認します。



## 初期設定について

本製品は皮膚科用デジタルターモに最適な設定・調整を丹念に行いMY(マイセッティング)モードにメモリーされています。使用時は撮影モードダイヤルを「MY」に合わせるだけで最適な撮影ができます。

**※※: ユーザーモードオフリートを希望しない場合は必ず下向き。  
GB00のユーザーモードU1, U2の設定は下記のようになっています。**

**U1: オートフォーカスモードで撮影**

**U2: マニュアルフォーカスモードで撮影**

主な設定内容:

オートフォーカス=深さの異なる色乗込着に良く合う

マニュアルフォーカス=先端ガラスを皮膚に圧接した時に最適化

白バランス=肌色再現の最適化

画角(ズーム)=撮影範囲最適化

通常は、電源を「OFF」にして再度電源を「ON」にしますと工場設定に戻ります。何らかの事情で設定が変わってしまった場合は、当社に送付して頂ければ有償で再設定致します。御自身で再設定される場合は下記要領を参考して下さい。

### ●MENUボタン設定

- ・マニュアルホワイト設定: LED照明を点灯し基準色液写体で設定します。
- ・画素設定: WG-6 : [5184 x 3456]  
に設定してあります。

### ●撮影/再生メニュー

- ・フォーカス調整/F値設定: カーペット地など深みのある液写体に先端ガラスを接触させます。マニュアルフォーカスを調整し、液写体表面と鏡行き御に焦点が合うように撮影確認をしながら最適位置に調整します。
- ・画質・サイズ: L 3:2
- ・フォーカス: マルチAF
- ・画質設定: シャープネス: ハード、彩度: 標準、コントラスト: 強
- ・露出補正: -0.3
- ・手ブレ補正: ON
- ・ホワイトバランス: 手動設定
- ・水銀器設定: OFF
- ・[P]: リング照明設定

### ●その他メニューの出発時設定

- [[P]]設定: オートフォーカス:標準、フラッシュ: リングライト  
ホワイトバランス: オートWB  
その他はU1と同じ

## 撮影する

1

撮像モード「U1」又は「U2」通常は「U1」に設定する。  
「U1」：オートフォーカスモードで半押し、フォーカス枠が緑色になりフォーカスされた状態になってから押す。  
「U2」：マニュアルモードで撮像(プリゼオ調整済み)

撮像は「U1」で通常撮像して下さい。「U2」は上下ボタンでフォーカス調整してご使用下さい。

2

電源ONの度に、画像がズームが5倍になっている。ズームの望遠ボタンを押し、ズーム比が 6.0-6.5程度に調整して下さい。T、Wでこまめに調整して下さい。

撮像する画像サイズは、 X 5.0 「18 mm x 13 mm」  
X 6.0 「16.5mm x 11 mm」  
X 6.5 「15 mm x 10.5mm」

撮像枚数 BGB : 約 1880枚

3

### エコージェルモード切替

先端ガラス面をアルコールで拭き、ガラス面にジェルを塗ります。ガラス面を鼻鏡に手前から押し当てて約を向方側に動かすようにジェルを塗ります。  
<ヒント>

ジェルを使用した状態で、撮像する。モード切替を偏光フィルターモードにする。(赤印)それによって、同一臨床部にて撮像する。2種類の画像を比較して診断の助けとする。例えば、プリントテストによって、脂漏性角化症が判定される。プリントテストの方法は、各モードで画像を1枚ずつ撮像して用意する。

- 1) パナー工房ドットコムで検索し、GIFアニメ作成から作って下さい。
- 2) Power Pointのスライドショーモードで作って下さい。

### 偏光フィルターモード切替

先端ガラス面をアルコールで拭いて準備します。冬季など風が乾燥状態の時はアルコールで先端皮膚表面を拭いてから撮像して下さい。非接触撮像が可能です。7-10mm程度離してオートフォーカスで撮像が可能です。足の指の間等、接触出来にくい場所でご使用出来ます。

注: 潰瘍や出血性病変では、皮膚とデジタルダーモの間にはやはりジェル、サララップ、ジェルとら具合にして、直接の接触を避けるようにして下さい。

4

スライドスイッチをONにして照明しながら被検部を撮影します。

注1) 照明用電源スイッチはこのスライドタイプしかありません。必ず、使用後は忘れずに切ってください。万一忘れた場合は約30分後に自動的に切れる保護回路があります。その場合、一旦スイッチをOFFにしてONにすると元にもどります。

## カルテ撮影 / 広域臨床撮影

### カルテの撮像

鼻部撮像前(後)にカルテを撮像しておくは患者さんの特定に便利です。

- カメラ本体からデジタルダーモモジュールを取り外します。
- 撮像モードダイヤルを「P」に合わせます。  
LEDリング照明が働きますが、照明がない方がよい時は、撮像モードダイヤルで、「AUTO」に合わせてご使用下さい。
- ズームは直角に合わせ調整します。
- カルテが丁度画面一杯に入る距離で撮像します。
- シャッターボタンを半押しするとリング照明が点きます。

### 広域臨床撮像

鼻部だけでなく、鼻部の周囲を含む広い面積の撮像や鼻部位置を示す為の広域撮像も簡単にできます。

- カメラ本体からデジタルダーモモジュールを取り外します。
- 撮像モードダイヤルを「P」に合わせます。  
LEDリング照明が働きますが、照明が弱い方がよい時は、撮像モードダイヤルで、「AUTO」に合わせてご使用下さい。
- ズームレバーで、直角を合わせます。
- 撮像範囲に合わせて被写体とカメラの位置を調整し撮像します。  
(ズーム比と距離を考慮します。シャッターを半押しして、オートフォーカスが作動して緑の枠ができればOKです。)
- シャッターボタンを半押しするとリング照明が点灯します。

## 皮膚撮影に便利なシリコンアダプター

従来の臨床部への密着撮像での血管を圧迫した撮像とシリコンアダプターで血管への圧迫が少ない撮像が両方できます。

1. ジェルタイプは、ジェルを皮膚とガラスの間のギャップに満たせます。
2. 偏光フィルタータイプは、非接触に近い撮像ができます。
3. シリコンアダプターは、オートクレープで拭きが出来ます。

シリコンアダプターをモジュールへ密着させることが大切です。頭部を押さえて、下の方へ押し当てて密着させます。水をアダプターとモジュールにかけて同様に密着させますとより強固に密着します。接着力が弱くなったら、石鹸等で洗って油分を落として下さい。